

身近なとらでいいことたくさん 校区社会福祉協議会の福祉活動 —ふれあい・いきいきサロン—

ふれあい・いきいきサロン活動とは、身近な小地域(自治会等)を単位として、高齢者や障害者、児童など地域住民とボランティアが一緒に企画し、運営する「仲間づくり」「健康の維持・増進」「生きがいづくり」を進めるための活動です。市内には、サロンと呼ばれる「集いの場」が260か所以上あります。

浮島校区 「うきうき金曜サロン」

「うきうき金曜サロン」は、校区社協の設立にあわせて、平成28年4月、久留米市最西端に位置する城島町浮島校区に発足したサロンです。

ひとりで過ごすことの多い高齢者がコミュニティセンターに集まって、ほっとできる場でさらに元気になってほしいとの思いで始められました。

「ぼけない小唄」の歌で始まるサロンは、毎月第3金曜日に70歳半ばから90歳を超える21人が参加します。

校区ボランティアは14人で、全員ボランティア経験は初めてという人ばかりでしたが、元看護師が健康チェックをしたり、元給食調理員が高齢者の健康を考慮した食事を準備したりしています。地元の人たちから提供される野菜等の食材は新鮮なものばかりです。ほたもちやみたらし団子など懐かしい手づくりおやつも楽しみの一つです。

また、近隣の福祉施設スタッフや外



みんなで楽しく輪投げゲーム

部からの講師の協力を得て、健康体操や歌、ゲーム、脳トレといった介護予防も楽しく学習しています。

8月には夏休み中の小学生も加わり、一段と活気にあふれました。誕生日になると、参加者みんなで健康長寿を祝います。

校区全体の協力で歩み始めたサロンは、毎回、笑顔と感謝の声「ありがとう」でいっぱいです。

長寿の地域福祉活動に 県知事表彰・東国分校区 ふれあいこだま会

3月27日、福岡県は孤立死などを防ぐため見守り等の活動を行っている地域4団体、1事業者に対し、表彰を行いました。久留米市からは、「東国分校区ふれあいこだま会」(田村信子会長)が表彰されました。

ふれあいこだま会は、東国分校区の一人暮らし高齢者や高齢者世帯を対象に見守り訪問を行っており、誕生日にはお花を持って訪問するなど工夫をしながら活動しています。また、一人暮らしの高齢者を対象とした自立支援教室(料理教室)や校区のバザーに出店するなど、地域に根づいた活動を行っています。



東国分校区ふれあいこだま会 田村会長と大曲副知事



自立支援教室の様子